

2024年3月期 決算説明会



2024年5月23日

スターゼン株式会社
証券コード：8043

本日のスケジュール

1. 2024年3月期決算概要

執行役員 財務経理本部長
森上 倫輔

2. 企業価値向上への取り組み

代表取締役社長
横田 和彦

3. 質疑応答

2024年3月期決算概要

2024年3月期 実績

売上高減収・各段階利益過去最高更新

売上高	4,105億円	(前年同期比 ▲3.4%)
営業利益	89億円	(前年同期比 +10.0%)
経常利益	107億円	(前年同期比 +4.8%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	75億円	(前年同期比 +0.4%)

売上面

相場高値により輸入牛肉の取扱量が減少。

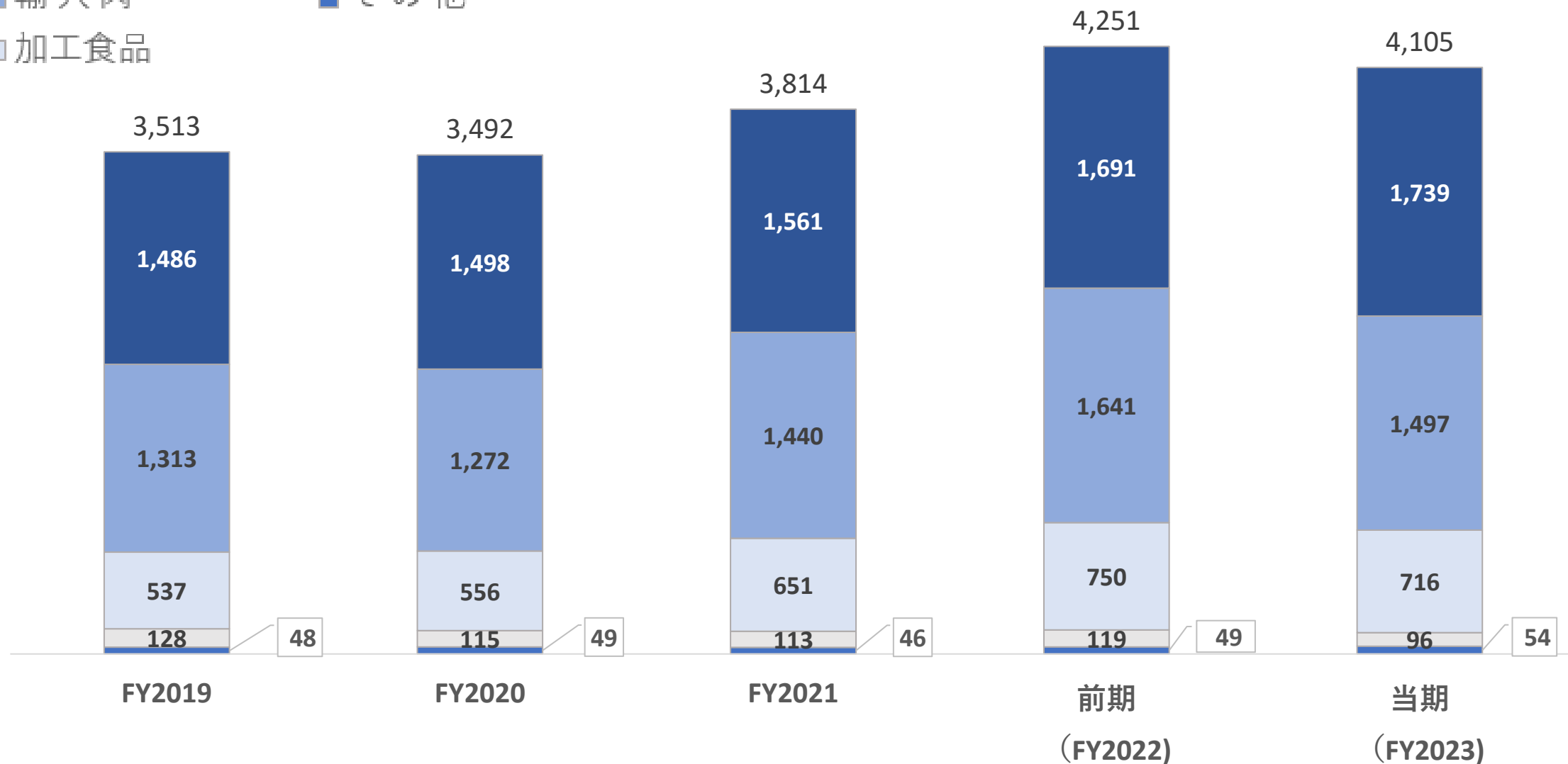
利益面

加工食品、輸入豚肉の需要堅調により増益。
各段階利益で過去最高更新。

売上高(品目別)

- 国産食肉
- 輸入肉
- 加工食品
- ハム・ソーセージ
- その他

(単位：億円)



業績サマリー(前期比較PL)

(単位：億円)

	前期 (FY2022)	対売上高 利益率	当期 (FY2023)	対売上高 利益率	増減額
売上高	4,251		4,105		▲ 146
売上総利益	385	9.1%	408	10.0%	+23
営業利益	81	1.9%	89	2.2%	+8
経常利益	102	2.4%	107	2.6%	+4
税前利益	102	2.4%	110	2.7%	+7
税後利益	74	1.8%	75	1.8%	+0

貸借対照表

貸借対照表

	FY2022	FY2023	増減
流動資産	954	1,052	+97
固定資産	510	559	+49
繰延資産	0	0	▲0
資産合計	1,465	1,611	+146

財務指標等

	FY2022	FY2023	増減
運転資金	640	641	+0
有利子負債	395	393	▲2
ネット有利子負債	284	223	▲61
DER	0.56倍	0.50倍	▲0.06倍
自己資本比率	48.1%	48.4%	+0.3%

(単位：億円)

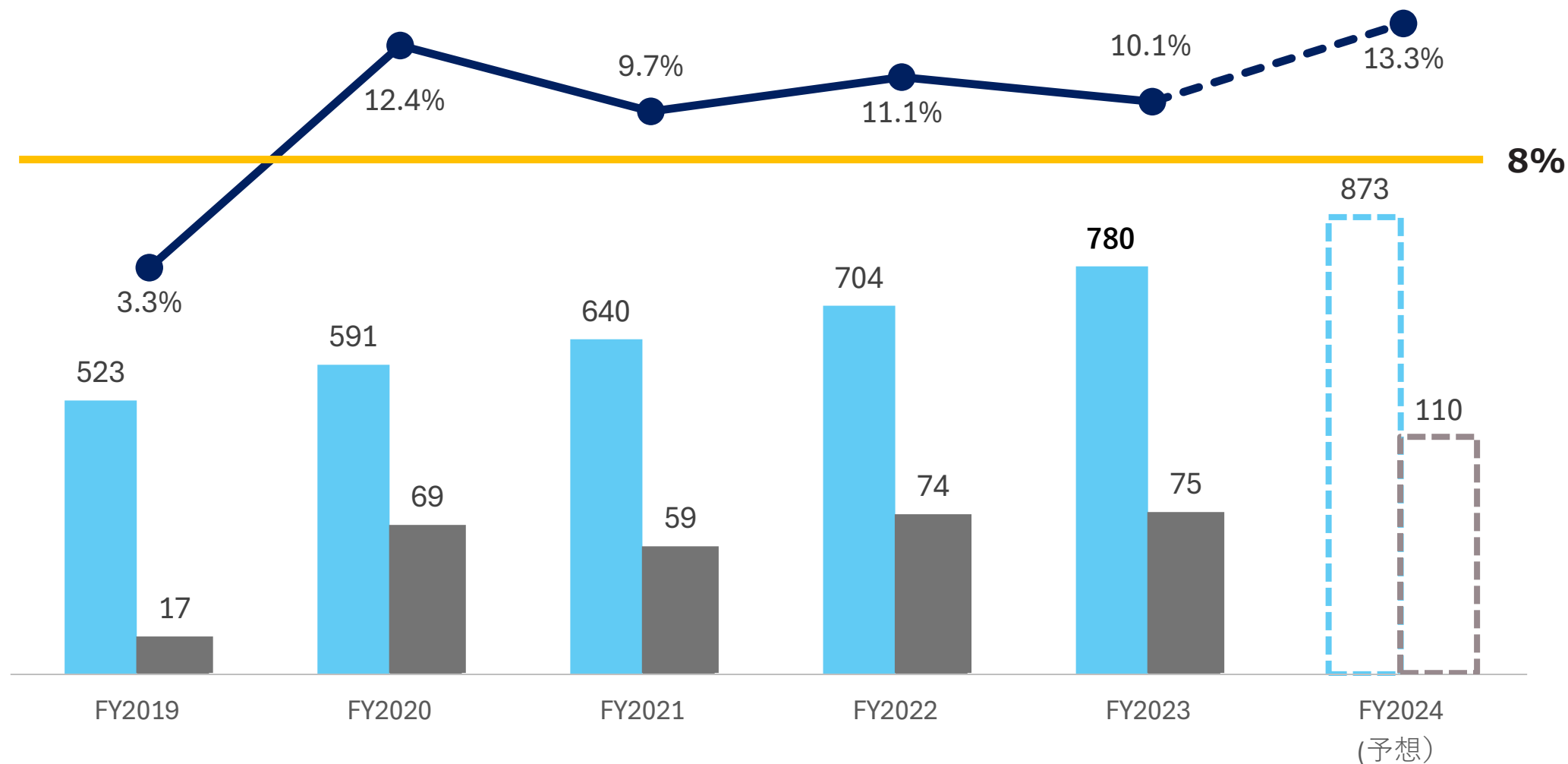
	FY2022	FY2023	増減
流動負債	494	544	+49
固定負債	268	287	+18
負債合計	763	831	+68
純資産合計	701	780	+78
負債・純資産合計	1,465	1,611	+146

	FY2022	FY2023	増減
ROA	7.1%	7.0%	▲0.1%
ROE	11.1%	10.1%	▲1.0%
EBITDA	110	120	+9
減価償却費	29	30	+1
ROIC	6.5%	6.3%	▲0.2%

ROEの推移

(単位：億円)

- ・自己資本が増え、財務の健全性が高まる
- ・ROEは8%を超えて推移



キャッシュフロー

	FY2022	FY2023	(単位：億円) 増減額
営業活動によるキャッシュフロー	72	127	+55
投資活動によるキャッシュフロー	▲41	▲48	▲6
フリーキャッシュフロー	30	79	+49
財務活動によるキャッシュフロー	▲31	▲20	+10
為替換算による影響額	0.7	1.1	+0.4
現金及び現金同等物の残高	108	168	+59
固定資産の取得による支出	▲31	▲63	▲32

企業価値向上への取り組み

理念体系の刷新

様々な環境の変化



原料価格の高騰



物流費・人件費の上昇



ライフスタイルの変化

業績の伸長とともに
従業員数が3倍



様々な価値観やスキルを持つ
社員が一つの方角を目指す



新たな理念体系

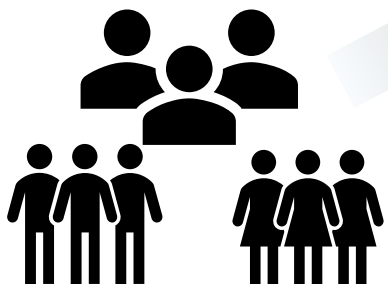
あるべき姿を示した**経営理念**

〈ブランド・ビジョン〉

「いただきます」で、
もっと元気に。

「ありがとう」で、
もっと笑顔に。

スターゼン
従業員



〈経営理念〉

食の感動体験を創造することで
世界中の人々と食をつなぎ続ける



スターゼンと取引をして
よかったといわれる会社になろう



スターゼンで働いて
よかったと思える会社になろう



仕事を通じて自ら成長しよう

経営理念を実現させるために**消費者目線**で
作成した**ブランド・ビジョン**

こちらのURLよりブランドムービーを
ご視聴いただけます。

スターゼンWEBサイト「経営理念／ブランド・ビジョン」ページ

<https://www.starzen.co.jp/company/houshin.html>

理念体系の刷新

ブランドムービーの出演者は
社員とその家族です。



〈ブランド・ビジョン〉

「いただきます」で、もっと元気に。
「ありがとう」で、もっと笑顔に。

〈経営理念〉

食の感動体験を創造することで
世界中の人々と食をつなぎ続ける



スターゼンと取引をして
よかったといわれる会社にしよう



スターゼンで働いて
よかったと思える会社にしよう



仕事を通じて自ら成長しよう

テーマ「収益構造の再構築とサステナブルな事業運営」

3つの方針

① 新規事業への挑戦

② 国内事業改革

③ サステナビリティ経営と経営基盤強化

2026年3月期目標

EBITDA

120億円

ROE

8%以上

ROIC

5.5%以上

自己資本比率

40%以上

「和牛」「人材・技術」「支援体制」の強み

和牛の輸出

南北2拠点体制



台湾への輸出開始



専門技術の向上
品質安定

部分肉製造
マイスター

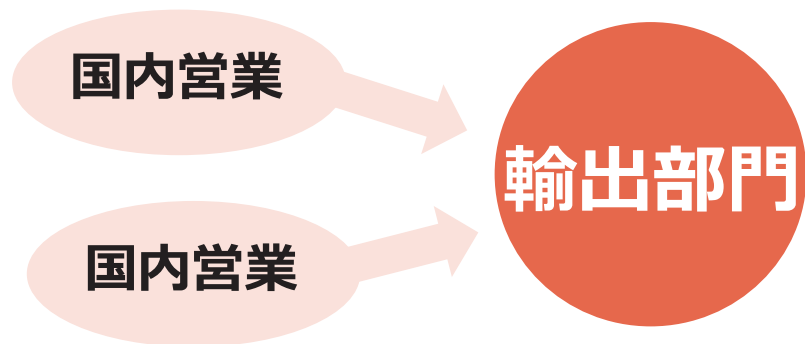


新たに
牛部分肉
製造マイスター5名
豚部分肉
製造マイスター7名



海外事業の積極展開

輸出部門への人材投資



ロイン系以外の販売強化



海外得意先への提案
国内外の展示会へ出展

招へい事業での肩ロースの小割実演



スキンパック商品



海外事業の積極展開

豪州肥育事業への参入



豪州産WAGYU事業の
基盤拡充を図る

海外進出企業のサポート強化

- ・5000社を超える国内企業との取引実績
- ・海外拠点を通じた現地パートナー企業との連携



消費者ニーズの多様化



商品開発のスピードや工程の増えた
製品化

一つの組織に集約

マーケティング

商品開発

販促企画

営業
統括部

価値ある商品の開発へ

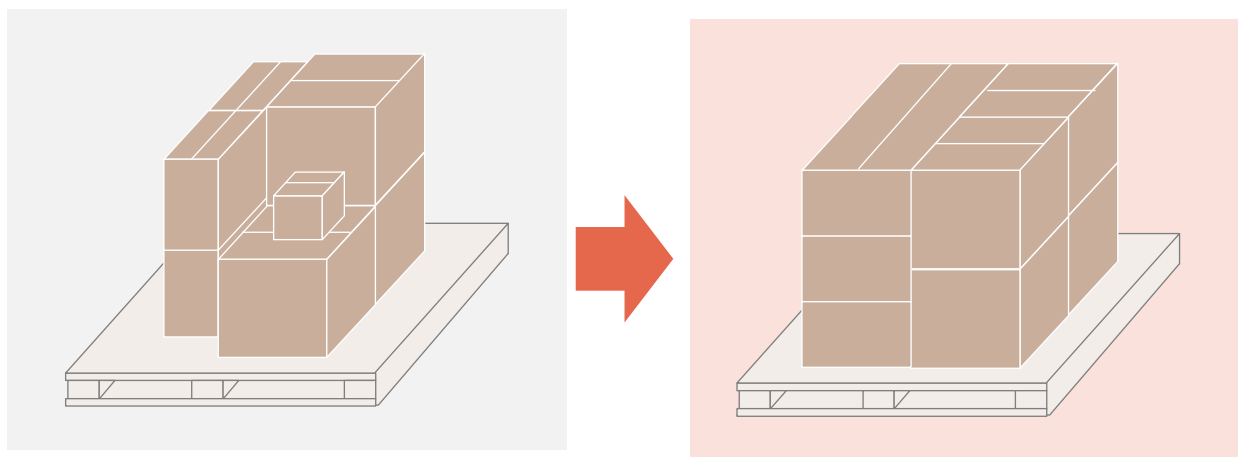
消費者に選ばれるNB商品を作るために
エクスターナルブランドプロジェクトを立ち上げ



リブランディング

当社ビジネスモデルの根幹である物流の課題対応に注力

パレット輸送による積載・保管効率化
パレットサイズを踏まえて規格統一を推進



東扇島物流センターの新設
兵庫県伊丹市にある営業センターの
新築移転を決定



国内成長市場へのアプローチ強化

ふるさと納税へのアプローチ強化

幅広い自治体へのアプローチ強化



社会課題への対応

メタンガス排出量削減
への取り組み



高齢化社会への対応

調理現場の人手不足の深刻化
いつまでも美味しく食事をとりたいニーズ



アニマルウェルフェアの取り組み
最適なフリーストールの研究

2025年3月期 通期業績予想

(億円)	2024年 3月期実績	2025年 3月期予想	通期対比
売上高	4,105	4,120	+0.4%
営業利益	89	94	+4.7%
経常利益	107	108	+0.2%
税後利益	75	110	+46.4%

25/3期通期業績予想 総括

- ・国内サプライチェーンの再構築
- ・海外事業や国内成長市場への販売拡大

2025年3月期 配当予想

直近5力年推移

	2021年 3月期実績	2022年 3月期実績	2023年 3月期実績	2024年 3月期予定	2025年 3月期予想
一株当たり配当金（円）	65 (130)	65	75	80	90
配当金総額（百万円）	1,267	1,265	1,462	1,555	-

※当社は2021年4月1日を効力発生日として1株につき2株の割合で株式分割を行っております。
2019年3月期期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり配当金を記載しております。
尚、括弧書きは株式分割前の1株当たり配当金を記載しております。

当資料は投資家の参考に資するため、スターゼン株式会社（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。記載内容は、2024年5月23日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。本発表にて提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みますが、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。